

災害復興住宅融資等に関する確認書

(金融機関名)

御中

申込本人(自署)(氏名)

連帯債務者(自署)(氏名)

私(連帯債務者を含みます。)は、災害復興住宅融資等(新築購入)の借入申込みを行った住宅について、次のとおり住宅金融支援機構が定める技術基準に適合していることを確認しました。

なお、本確認書の記載内容に虚偽があった場合は、融資承認を取り消されても何ら異議ありません。

物件所在地	地名地番	
	マンション名・部屋番号 (一戸建て住宅の場合は記入不要)	

<技術基準事項の適合確認表>

下表の1から3までの内容を確認し、内容確認欄にチェックを入れてください(記入の際は記載方法をご参照ください。)

項目番号	内容確認欄 (いずれかにチェック)		確認項目	確認内容	金融機関 使用欄
	適合 (※1)	不適合 (※2)			
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	規格	原則として、居住室、炊事室および便所を備えていること。	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	戸建 型式 等	《共同建て住宅または重ね建て住宅(※3)の場合》 耐火構造の住宅または準耐火構造(省令準耐火構造を含む。)の住宅であること。 * 共同建て住宅および重ね建て住宅でない場合は、左欄の「適合」にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	併用 住宅 の床 面積	《併用住宅(※4)の場合》 ・住宅部分の床面積が、原則として、全体の床面積の1/2以上であること。 ・住宅部分と非住宅部分が壁や建具等により区画されていること。 (注) 住宅部分の床面積が全体の床面積の1/2未満であっても、融資を利用できる場合がありますので取扱金融機関にお問合せください。 * 併用住宅でない場合は、左欄の「適合」にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/>

※1 お手元に【フラット35】新築住宅の適合証明書がある場合は、項目番号1から3までの内容確認欄の「適合」にチェックを入れてください。

※2 適合確認表の内容確認欄において、不適合の項目が1つ以上ある場合には、融資の対象とはなりません。

※3 共同建て住宅および重ね建て住宅については、図1を参照してください。

※4 併用住宅とは、住宅の一部に、店舗・事務所等の用途に使用する部分があり、内部で相互に行き来できる住宅のことをいいます(図2参照)。

図1 戸建型式の例

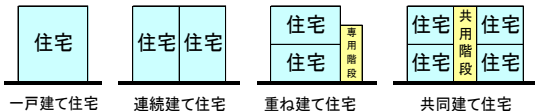
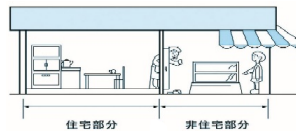


図2 併用住宅の例



適合確認表の内容確認欄をチェックする際に活用した書類は、大切に保管してください。住宅金融支援機構の職員が、後日、技術基準に適合していることについて確認させていただく場合がありますのでご承知おきください。